

平成26年4月30日 発行
(株) ニーノコーポレーション
扶桑町大字齊藤字緑223
(0587) 93-7833

『JR控訴審をうけて』

愛知県で認知症の男性が列車にひかれ死亡、その後JRが遺族に対し賠償責任を求めた裁判の控訴審の判決が4月24日に言い渡されました。別居の家族の過失は認めないものの同居の家族に過失があったと認められてしまいました。

認知症の人を介護する家族には、徘徊などへの対応のため一瞬たりとも気の抜けない生活を強いられている人もたくさんみえます。一般に徘徊と言われる問題行動ですが、認知症の方が外出するのにはちゃんとした目的があります。「仕事に行かなくては」「子どもを迎えに行かなくては」「家に帰ってご飯を作らなくては」と思って外出するのです。記憶障害や見当識障害のために、外出先で道に迷ったり、事故にあったりしてしまふことがあります。

だからといって認知症の人をむりやり閉じ込めておくことは、その方の尊厳を傷つけることとなります。政府の政策では地域資源を活用し地域で認知症の人を支える社会を目指しています。各自治体では認知症サポーター養成講座を開催したり、徘徊模擬訓練を実施したりして、地域の方に認知症のことを知ってもらいみんなで認知症の人を支えていける地域作りのために取り組んでいます。

認知症の人がいる家族が「うちのおじいちゃんが徘徊中に車にひかれたら、ひいた運転手さんがかわいそう。」と口にしたりするのを聞いたことがあります。本来ならば責めたてるべき相手さえも庇いたくなるくらい認知症の人の徘徊は過酷なのです。1人でも多く、1日でも早く認知症の人が理解され見守られる社会ができあがることを切に願います。

今回のような事故は誰の身にも起こり得ます。何かの折りにご家族やお友達と話し合ってみてください。

魚入神社でお花見をしました。
ホームから歩いていける距離
なので毎日お花見できます。



おねがい

予備の衣類を保管したいと思
います。まだ着られるけれど不要に
なった衣類がありましたら
ご寄付願います。

運営推進会議開催予定

扶 桑 5/29 7/24 9/25 11/27 1/29 3/26
江 南 5/27 7/29 9/30 11/25 1/27 3/31
ひくみ 5/28 7/30 9/24 11/26 1/28 3/25

『避難訓練』

4月10日、南北館合同で火災を想定した避難訓練を行いました。訓練の反省点として、「通報から初期消火にとりかかるまで時間がかかりすぎた」「外へ避難しても再度建物の中に入ってきてしまうので実際に火災が起きた場合も同じならば助けられない」「マニュアルにこだわりすぎて火元の近くにいる利用者さんを後回しにしてしまった」「避難に車いすが必要であったが車いすの保管場所が乱雑ですぐに取り出せなかった」等々、多くの意見がでました。実際に火災を起こさないことが第一ですが、万が一に備えて利用者皆さんの安全を確保できるよう、2ヶ月に1度避難訓練を実施していきます。

『運営推進会議』

本年度も運営推進会議への参加協力をお願いします。運営推進会議は行政の指導で、地域密着事業者が利用者家族、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、事業所による利用者の「抱え込み」を防止し、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

外部からの意見を取り入れることではなえくぼ江南も更なる高みへ昇ることが出来ます。皆様のご参加・ご意見を頂戴したいと思っております。



玄関先で外の空気に触れながらの
歌の時間も、室内での工作も皆さん
和気あいあいの素敵な雰囲気です。

『気持ちに寄り添う対応を』

Aさんは認知症で日中夜間問わず頻繁にトイレに行きます。今現在は自身でトイレに行けているので、そのことを誰も問題視していません。本当に問題視しなくて良いのでしょうか？Aさんが何かの原因で、1人でトイレに行けなくなったとしたらどうでしょうか？介護者が昼夜問わず30分毎にトイレ介助の為に呼ばれるようになったとしたら、「トイレに頻繁に行く」ことを問題視する以前に30分毎にトイレ介助を頼むAさん自身が問題視されかねません。介助の有無を問わず、なぜ頻繁にトイレに行くのかを医療、介護など色々な立場から考えて必要に応じた手立てを考える必要があります。

ご見学随時受付いたしております。お気軽にお問い合わせください。



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398
(0587) 91-0110
グループホームはなえくぼひくみ
犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1
(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小机町長者毛西132番地
(0587) 52-3808
はなえくぼのホームページ
www.gh-hanaekubo.com
ブログも時々更新しています